




令和4年度 がん教育総合支援事業「がん教育外部講師派遣」報告書 学校等名 <u>松浦市立志佐中学校</u> 担当者名 <u>養護教諭 滝川栄子</u> 電 話 <u>0956-72-0049</u> F A X <u>0956-72-1193</u>					
実施日	令和 4 年 12 月 16 日(金) 13:00 ~ 16:00				
場 所	本校体育館				
講座名	がん教育講演会				
講 師	みさかえの園あゆみの家 副施設長 岡田 雅彦 氏 (がん専門医)				
近隣校への案内	案内先: 市内中学校養護教諭部会 計 5 校				
参加者	児童・生徒	学校職員	保護者	他校職員等	その他
	第2学年 (75)人	(7)人	(0)人	(6)人	(市保健課・市内医師) (計 88)人
テーマと内容	テーマ「がん教育を通して 健康と命、思いやりの大切さを考える」 ・がんとはどんな病気か、予防に何をすればよいか、なぜ検診が必要か ・がんになった人の気持ちについて考える ・いのちを大事にするとはどういうことか考える				
<当日の様子> * 事業の様子等を必ず画像で添付してください。					
					
(司会進行は生徒が行った)					
<講師からの指導や助言・成果>					
<p>・誰もががんになる可能性はある。がんには原因が分かっているものと分からないものがあるが、生活習慣を見直すことでがんになりづらく、リスクも約半分になる。がんは早期発見することで9割以上は治ることから、検診はとても大切だ。がんに限らず、弱い立場にいる人が暮らしやすい社会とはいのちを大事にする社会である。相手のことを考え、想像する力、行動する力をつけるために「読書」をすること、「多くの人と知り合う」ことが大事だと話された。</p> <p>・生徒の感想にも今の生活習慣を見直したい、時期になったら検診をうけるなど、健康を守るための意識付けになった。生きている意味は何だろうと考えたことがあったが、代わりになるものはないと分かった、命を大事に生きていきたい、という実感をもった生徒がいた。</p>					
<今後の取組及び課題> * 今後のがん教育の充実に向けての活用等					
<p>・講演会のまとめや生徒の感想をまとめ、家庭に内容を周知する。(講演会前も家庭へお便りを配付した)</p> <p>・感想として、生活習慣を見直すことの大切さを挙げている生徒も多いた。生徒の委員会活動と併せて取り組んでいきたい。</p> <p>・がんという病気を通しての命の授業であった。単学年だけを対象としたが、全校で開催すれば良かったと思う。機会があれば全校での命、人権等と絡めての実施も考えていきたい。</p>					